

ilo

いと

人と人、アートでつながる Oita Arts Magazine

iichiko 総合文化センター

Oita International Plaza [おおいた国際交流プラザ]

OPAM [大分県立美術館]

大分県芸術文化スポーツ振興財団
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

季刊広報誌 2017 WINTER vol.75

Take Free

特集 オペラ『魔笛』 W.A.モーツァルト
対談：川瀬賢太郎 × 崎谷直人

03 オランダのモダン・デザイン リートフェルト／ブルーナ／ADO

03 東西風景版画の出会い ターナーから浮世絵、近代版画までの珠玉

06 iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ 第8回定期演奏会



Do you know where this is? / ここはどこでしょう?



Conductor

Kentaro Kawase

Violin

Naoto Sakiya



対談

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 常任指揮者

川瀬賢太郎 (32)



神奈川フィルハーモニー管弦楽団 第一コンサートマスター

崎谷 直人 (30)

魔笛

オーストリアの天才作曲家・モーツァルト晩年の傑作オペラ『魔笛』は大がかりな演出や愛嬌あるキャラクターが魅力。今なお世界中に愛され続ける本作へ挑む、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者／川瀬賢太郎さんと同団第一コンサートマスター／崎谷直人さんに、本公演の意気込みや見どころをうかがいました。

お二人が、音楽の道に進むようになったきっかけとは？

▼川瀬賢太郎(以下、川瀬) 僕の場合は父親がクラシック好きだったので、小さい頃から日常の中に音楽が流れている環境にあっただけです。グスタフ・マーラーのような長い楽曲、普通は幼稚園児が聴かないじゃないですか。もちろん、内容はわかってないんですけど、このジャーンってなる部分だけが好き！だとか、そんなふうにならなくていいです。『魔笛』もそうで、歌詞が全部「パ」だなんておもしろいな、なんて思ったり(笑)。

▼崎谷直人(以下、崎谷) 僕は赤ちゃんの頃から人見知りです……。まあ、今もそうなんですけど(笑)。人見知りを改善するために、母親とエレクティオン教室に通ったんです。その時、手作りの楽器を作ったという課題が出て、父親が作った楽器を持っていったら、僕以外の子は楽器が3Dだったんですよ。ちゃんと立体感があるという。でもうちのバイオリンだったの。で、これは偽物だ、本物よこせ！といったのがきっかけです。

老若男女問わず愛される『魔笛』の魅力とは、どういふものだと思いますか？

▼川瀬 僕、実はこのオペラがなぜ愛されているのか未だに疑問なんです。みななネーミングに騙されているんですよ！『魔笛』なんていわれると、ものすごくファンタジーなイメージがあるじゃないですか。でも、いやいや全然と。モーツァルトの集大成ともいえるオペラなので、曲は成熟しきっていて素晴らしいんですけど、同じモーツァルトでも、例えば『フィガロの結婚』とか『後宮からの逃走』とかに比べると明らか

に物語が急展開だし、悪と善がひっくり返るし。しかも、タイトルになっている『魔笛』なんてちょっとしか出ないんだから(笑)。

本作は闇の世界が「悪」、光の世界が「善」といふふうに分かれていて、その逆もしかり。表裏一体というか、この混沌とした世界の中で共存し合っているから、どっちが正しいかどっちが悪いなんて言い切れない。そういうふうな見方ができるというのが難しく、子どもに見せるには深すぎるんじゃないかと思うんです。

▼崎谷 だから魅力なんじゃない？ 変な話『ドラゴンボール』だってそうじゃないですか。昨日まで敵だったヤツが仲間になったり、また離れていったり……。子どもは違和感なく見ていたものが、大人になるとびっくりしないことってありますよね。メッセーjジ性の一番深いところまでわからなくても、子どもの時に表面だけでも聴いていたものになってみると、改めてわかることも多い。そうやって価値観は変わっていくんですよ。

例えばベートーヴェンの『運命』ひとつをとってみても、ジャジャジャジャーンというフレーズは昔からよく耳にしているけど、大人になって何度も何度も聴くと、彼の心情や曲の背景などいろんなことに想像力が働きはじめてくる。それはなにも音楽だけに限ったことではなくて、小さい頃の経験がある事柄を深く考えるきっかけになるということも、大いにあるんですよ。

はじめて『魔笛』を観る方のために、鑑賞のポイントを教えてください。

▼川瀬 オペラとしては、モーツァルトが生涯の中で描き続けた「愛の力」を、メッセーjジとしてキャッチすると見やすくなるんじゃないかと思えます。愛というのはゆるゆる恋愛だけではなくて、人間愛も含めてなんです。誰かを愛するために苦行に

耐え、大きな力を持って何かを打破する。そういうところ、愛っていいなと希望を見出してもいいんじゃないでしょうか。

あとは、登場人物も魅力的。特に「パパゲーノ」は愛らしいんです。ヤツがいなかったら、このオペラは難しすぎてこんな上演されてないんじゃないかっていうくらい、人間臭いキャラクターなんです。

▼崎谷 オペラは歌や芝居に集中してしまいうので、どうしても音楽がおざなりになりがちですが、そうなるとうまく面白くないと思うんです。普段のシンフォニーでは弾き手も聴き手も常に想像しなければいけないけれど、オペラは曲に歌詞がついているので、音楽をストーリーに乗せることができる。シチュエーションを暗くしたり明るくしたり、より濃密に感情を込められます。特にモーツァルトは非常に感情の豊かな作曲家だと思ってるので、そこも楽しんでもらえれば嬉しい。そのためにはまずプレイヤーと指揮者がリンクしないといけないですね。

▼川瀬 僕、神奈川フィルって古典音楽が上手なイメージがあるんです。そんなオーケストラで、しかも崎谷さんという信頼するコンサートマスターと、若い者同士で『魔笛』に挑戦できるのは、すごく楽しみなことですね。僕は、自分が経験したことがない人生を体験できるのがオペラの魅力だと思ってるので、大分の皆さまに、もともとオペラを好きになってもらえらるお手伝いのできたらいいなと思います。

▼崎谷 僕個人としては、音楽人生の中でひとつのケジメとなるベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会(※でも3000人の総合文化センターにはお世話になるのですが、今回のオペラ『魔笛』もどちらも全然違う体験ができると思いますので、難しく考えずに気軽に来て欲しいですね。

大分には何度か行ったことがあって、その時に食べた「関サバ」がすごくおいしかったので、今回も楽しみにしています(笑)。

INFORMATION



文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

iichiko総合文化センター・神奈川県民ホール・東京二期会・神奈川フィルハーモニー管弦楽団 共同制作

オペラ『魔笛』W.A.モーツァルト 全2幕・ドイツ語上演・字幕付・日本語ナレーション

3/11(土)

開場/13:15 開演/14:00 所 iichikoグランシアタ

GS席12,000円、S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、C席4,000円、U25割(25歳以下 A~Cのみ半額)、栈敷席(3F/高校生以下)1,000円※未就学児入場不可、無料託児あり

iichiko総合文化センター ☎097-533-4004

指揮 川瀬賢太郎 演出・装置・照明・衣裳 勅使川原三郎

出演 大塚博章(ザラストロ)、安井陽子(夜の女王)、鈴木准(タミーノ)、嘉目真木子(パミーナ)、宮本益光(パパゲーノ)、佐東利穂子(ダンス・ナレーション)、東京バレエ団、二期会合唱団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ほか





※崎谷さんもメンバーの一員であるウェールズ弦楽四重奏団が、2016年度からiichiko音の泉ホールで「ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会」に取り組みます。この演奏会はベートーヴェンが生誕250年を迎える2020年までの5年間をかけ、全16曲の弦楽四重奏曲に取り組み大プロジェクトです。第1回目は2017年1月18日(水)に開催されます。

0 “みる”をめぐる7つのお話




今回の連続レクチャーでは、「見る」、「観る」、「診る」、「看る」、「視る」。様々な「みる」をテーマに、ただ話を聞くだけでなく、資料や映像を交えるのはもちろん、実演や演奏を加えたワークショップ形式の7つのレクチャーを行っています。

無料

10月～12月まで開催した4つのレクチャー

<p>其の一 2016 10/8(土) 「診る」「看る」「観る」 ～動物のお医者さん</p> <p>講師は九州自然動物公園で獣医師をしている神田岳委(いわい)さん。「シマウマが白黒のわけ」「笑っているバイソンは気のせいではなく本当に笑っている」「アジアゾウの想像妊娠」など、次から次へと笑いの絶えない話の連続。そしてライオン(リボンちゃん)の話に涙ぐむ参加者たち。みんな動物を観に行きたくなりました。</p> 	<p>其の二 2016 11/5(土) 声色ってどんなイロ？ 耳を澄まして声をみる</p> <p>フリーアナウンサーの深町絵里さんが講師を務めた今回のレクチャー。カーテンの向こうにシルエット姿で登場し、ラジオDJ風にスタート！「声の仕事とは？」「自分の声を聴いてみよう」「伝わる声とは？」の三部形式。天気予報を読んだり、発声練習をしたり、腹式呼吸をしたり、美術館の音声ガイドだけで絵を描いてみたい…。あっという間の3時間でした。</p> 	<p>其の三 2016 11/19(土) 「みる」から「読む」へ ～きれいだけじゃない、絵地図の魅力～</p> <p>臼杵市歴史資料館の館長、菊田徹さんを迎えた3回目。地図の読み方をはじめ、地図に隠された歴史の裏話を伺いました。原寸大の古地図のレプリカは上にとの迫力満点。「城」を中心に「道路」「河」「集落」が描かれています。こうした絵地図はなぜ描かれたのか。江戸時代の城下町をたどりながら歴史的な背景を絵地図から読み解きました。</p> 	<p>其の四 2016 12/3(土) 奏でるレクチャー・ 絵を音で見る</p> <p>美術と音楽はどんな関係があり、影響し合うのか。講師を務めたミュージシャンの鈴木広志さんは、「上杉本洛中洛外図屏風(米沢市上杉博物館)」を見て音楽を作曲したほか、絵や彫刻、建築、そして展示会のイメージからも作曲しています。作品を見て作曲した曲やその時のお話を聞き、さらにはコレクション展の作品から即興演奏を行いました。</p> 
---	--	--	--

1月～3月まで開催する多彩なレクチャー

<p>其の五</p>  <p>肉眼・目視から200倍の視力まで ～保存と修復の世界をみる～</p> <p>講師 渡辺智恵美(別府大学 文学部 教授)</p> <p>1/21(土) 13:30～16:30</p> <p>10円玉を200倍の視力で見る！すると肉眼では気づかなかった形が見えてきます。大分県内を中心に文化財の保存修復や文化財を守るための環境調査に取り組んでいる渡辺智恵美さんは、我々の普段の生活では見えないサイズでモノを見ることで、製作技法や素材、考古学的な情報を引き出します。文化財の保存と修復の世界を、倍率を変えて見る顕微鏡の世界とともに、たっぷり伺います。</p>	<p>其の六</p>  <p>受け継がれた究極のマンネリズム 神楽を観る</p> <p>講師 豊田徹士(豊後大野市歴史民俗資料館)</p> <p>2/18(土) 13:30～16:30</p> <p>神楽の魅力や豊後大野市歴史民俗資料館の豊田徹士さんに伺います。豊田さんは神楽を「形のない伝統を継ぐこと」「受け継がれた究極のマンネリズム」と、みえています。スティック、サディスティックに伝統を受け継いできた人たちの悲喜交々、その結果である神楽の「カタ」、伝承者の意思や地域の意思の話の数々。神楽を観る眼が変わります。</p>	<p>其の七</p>  <p>民藝を観る、愛でる</p> <p>講師 杉山享司(日本民藝館 学芸部長)</p> <p>3/4(土) 13:30～16:30</p> <p>普段用いる日用品の美しさに着目した柳宗悦(1889-1961)は、無名の職人達が作った民衆的工芸品を「民藝」と名付けました。様々なモノに出会って、触発されて、展開されていく中、柳宗悦の仕事は発見の連続。その出会いから日本民藝館は生まれました。“みる”をめぐる7つのお話最終回は、柳宗悦の会ったモノのお話を日本民藝館の杉山享司さんから伺いながら、日常の美しさについて振り返ります。</p>
---	--	--

ワークショップ・レクチャーの申込み

場所: 大分県立美術館 2階アトリエ
対象: 中学生から一般(要事前申込)
定員: 50名程度(各講座)
参加費: 無料

申込方法: 希望する講座名、氏名(ふりがな)、年齢、住所、電話番号(必須)を記入の上、往復はがき、またはHPの申込フォームよりお申し込みください。
※定員に達し次第受付終了

「ワークショップ 連続絵画 絵から音へ、音から絵へ」

絵画や建築、それに展示会からさまざまな音楽を作曲している鈴木さん。2011年のワークショップでは、以前に屏風絵から作曲した音楽を聞きながら、みんなで大きな絵を描き、鈴木さんはさらにこの絵から新曲をつくりました。そして連続絵画のワークショップではその曲から絵を描き、また新曲へと続きます。2月には今回のレクチャーから生まれた音楽とともにコンサートを行います。作曲の元となった作品と新曲をお楽しみに。



▲12/4(日)・11(日)ワークショップの様相

0 音と色彩のコンサート演奏会

無料

2/20(月) | 10:30～11:30

▶大分県立美術館 2階 アトリエ・体験学習室

無料(要事前予約)
大分県立美術館 ☎097-533-4502

EVENT INFORMATION

0 大分県立美術館 ☎097-533-4500 | 1 iichiko総合文化センター ☎097-533-4004

0 オランダのモダン・デザイン リートフェルト／ブルーナ／ADO 遊ぶデザイン&暮らしのアート

～1/22(日) ▶大分県立美術館 1階 展示室A

オランダのモダン・デザインの魅力に迫る展覧会

「シュローダー邸」を設計した建築家ヘリット・トーマス・リートフェルトや、「ミッフィー(うさこちゃん)」の生みの親として知られるディック・ブルーナ、そして、玩具「ADO(アド)」を生み出したコー・フェルズー。オランダが生んだ巨匠たちの作品を通して、オランダのモダン・デザインの魅力に迫る展覧会です。

¥ 一般1,000(800)円、高大生800(600)円 ※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金
大分県立美術館 ☎097-533-4500



0 東西風景版画の出会い ターナーから浮世絵、近代版画までの珠玉

2/10(金)～3/5(日) ▶大分県立美術館 3階 展示室B

版画技術の奥深い魅力に迫る

銅版画による風景表現の多様性と技術の進歩を示した、19世紀イギリスの風景画家ウィリアム・ターナーの「研鑽の書」全99点を一堂に展示するとともに、葛飾北斎、歌川広重の浮世絵から橋口五葉、川瀬巴水、吉田博らの近代版画へと至るわが国における風景版画の展開を紹介します。

¥ 一般300(250)円、高大生200(150)円 ※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金
大分県立美術館 ☎097-533-4500



OPAM COLLECTION コレクション展を見に行こう!

OPAMは、芸術会館が37年間にわたって収集してきた約5,000点にのぼる作品や資料を引き継ぎ、至宝として保管しながら、コレクション展等を通じて紹介するとともに、その魅力を広く国内外に向けて発信しています。

コレクション展Ⅴ
「コレクションに見る
生活の詩」
～1/31(火)

特集展示:佐藤敬
日々の生活の中に息づく“美”を題材にした作品を紹介。大分市出身の洋画家で、化石を想わせる独自の抽象スタイルを確立した、佐藤敬の生涯110年を記念した特集展示も開催。



コレクション展Ⅶ
「春を言祝ぐ」
命芽吹く春の訪れを祝い、コレクションより春を題材にした作品を紹介。また、日田の旧家が所蔵する雛人形の名品を特別展示。歴史ある雛人形たちが展示されます。

2/3(金)～4/4(火)
※休展日3/1(水)



関連イベント

講演会「雛人形の歴史と魅力」

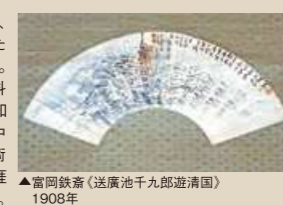
定員:先着80名(申込不要)
2/11(土)祝 13:30～15:30 ▶大分県立美術館 2階 研修室
講師:林直輝(吉徳資料室 室長)、田中正流(平等院ミュージアム鳳翔館 学芸員)
OPAM ミュージック・イン・ミュージアム2017 Vol.12「お琴の音色でいざなう春 ～おひなさまとともに～」
3/12(日) 11:00～/14:00～(各30分) ▶大分県立美術館 1階 アトリウム

新 大分県立美術館 3階 コレクション展示室 時 10:00～19:00 ※金・土曜日は20:00まで(入館は閉館の30分前まで)
料 一般300(250)円、高大生200(150)円 ※()内は20名以上の団体料金、中学生以下は無料。高校生は土曜日に観覧する場合は無料。 ☎ 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

おおいと温故知新 2016

コレクション展Ⅵ特別展示
～大分の先人たちの知性と感性に学ぶ～vol.3
近世中津の偉人と廣池千九郎
3/2(木)～4/4(火)
▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室内(C1展示室)
大分県立美術館 ☎097-533-4500

今回の温故知新は、様々な分野で活躍した中津市の偉人たちが、「モラロジー(道徳科学)」の提唱者として知られる廣池千九郎を中心に、近代中津の芸術家や学者たちの生涯と業績を紹介します。



記念講座「近代中津の偉人と廣池千九郎」
定員:80名(申込不要)
3/25(土) 13:30～14:30
▶大分県立美術館 2階 研修室
講師:井出元(廣池千九郎記念館 館長)
展示案内(申込不要(要観覧券))
3/26(日) 17:30～18:00
▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室
案内:矢野篤(廣池千九郎記念館 学芸員)

大分県立美術館 ☎097-533-4500 iichiko総合文化センター(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 ☎097-533-4004



平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ 第8回定期演奏会

3/26(日) 開場 13:15/開演 14:00 ▶iichikoグランシアタ

いよいよ本番! 子どもたちによる本格オーケストラ!

地元大分の音楽シーンの活性化を目指し2009年4月に結成されたジュニアオーケストラの今年度8回目となる定期演奏会。今回は指揮に梅田俊明氏を迎え、ヨハン・シュトラウスⅡ世の喜劇『こもり』序曲などを演奏します。練習に励んできた子供たちの表情や真剣なまなざしを、ぜひ会場でご覧ください。

曲 ヨハン・シュトラウスⅡ世/喜劇『こもり』序曲、E.グリーグ作曲/音楽物語「ペール・ギュント」作品23、46、55より(ナレーション入り)、F.Jハイドン作曲/交響曲第100番 ト長調 Hob.I:100「軍隊」 ¥ 自由席 1,000円、学生(高校生以下)500円、未就学児無料(3歳以下入場不可)

問 iichiko総合文化センター ☎097-533-4004

チケット販売 友の会びびり 一般:1/14(土)

Report レッソンの様子をキャッチ!

2016.11/13(日)

この日は今回指揮者を務める梅田俊明氏による指揮者練習。本番の定期演奏会では、4年ぶりにタクトを振ります!

ただいま
練習中!



2016.12/11(日)

この日は九州交響楽団の団員のみなさんご指導の下、繰り返し練習を行ったジュニアオーケストラのみんな。各パートに分かれ、個々の技術を磨きました!



チェロ 新倉瞳
©ミュージックエンターテイメント

ハープ 朝永侑子
©井村 重人

平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
i ワンコインリレーコンサート Vol.5
~ハープ~

500円

2/15(水) 開場 13:00/開演 13:30 ▶iichiko音の泉ホール

ハープの音色に癒されて

演奏者のお話を交えながらお楽しみいただくワンコインリレーコンサート。今年度5回目は、国内外で活躍する若手ハーピスト朝永侑子氏をお迎えします。また、今年デビュー10周年を迎えたチェリスト新倉瞳氏との共演も必聴です。やわらかくて力強いハープの音色を存分にお楽しみください。

出 朝永侑子、新倉瞳(チェロ) ¥ 全席指定500円
問 iichiko総合文化センター ☎097-533-4004 ※未就学児入場可

チケット販売 一般:1/14(土)

平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
i 青島広志のおしゃべりオペラティックコンサート
歌劇『魔笛』の魅力 W.A.モーツァルト作曲

大分公演 2/6(月) 開場 18:30/開演 19:00 ▶iichiko音の泉ホール

中津公演 2/7(火) 開場 18:00/開演 18:30 ▶中津文化会館大ホール

楽しくわかりやすく『魔笛』の魅力を紹介!

テレビ朝日「題名のない音楽会」や日本テレビ「世界一受けたい授業」に出演、また作曲家としては「火の鳥」をはじめ、200曲もの曲を手掛ける青島広志氏の、楽しいトークを交えたコンサートです。曲目はオペラ『魔笛』より、「愛の喜びは露と消え(パミーナ)」などをお聴きいただけます。

出 青島 広志(お話・ピアノ)、横山 美奈(ソプラノ)、小野 勉(テノール)、男澤 友泰(バリトン) ¥ 1,000円(大分:指定席、中津:自由席)
問 大分公演:iichiko総合文化センター ☎097-533-4004、中津公演:中津文化会館 ☎0979-24-1155 ※未就学児の入場不可

チケット販売中



©Gakken Pub



平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
i OITA BROADWAY MUSICAL THEATER

3/20(月・祝) 開場 15:00/開演 16:00 ▶iichiko音の泉ホール

ミュージカルはみんなが主役! あの有名な演目で笑顔と元気を届けます

大分県民から広く参加者を募集し、ミュージカル体験ワークショップ講師の野口アキラ氏、若林裕治氏、岡崎亮子氏や地元講師陣の指導のもと参加者たちは練習を重ねてきました。映画などでもおなじみのミュージカルナンバーを、歌って踊って表現することの楽しさや喜びを体中で表現します。ブロードウェイミュージカルの名シーンを生演奏にのってお届けするこの舞台、お見逃しなく!

演 OITA BROADWAY MUSICAL ORCHESTRA 曲 「レ・ミゼラブル」、「美女と野獣」、「ハイスクール・ミュージカル」、「アニー」など ¥ 自由席 入場無料 ※ただし、チケット要
問 iichiko総合文化センター ☎097-533-4004

Report レッソンの様子をキャッチ!

2016.10/23(日)

はつらつとしたダンスに熱心な歌声

2017年3月の本番に向けて、夏から練習に取り組んできた生徒たち。ダンスのレッスンでは先生が見せてくれる振りや真剣に見つめ、自分たちの表現にしようと頑張っている姿が見受けられました。また、歌のレッスンでは、各パートごとに音程を確認しながら丁寧に歌いました。何度も繰り返し音程を聞き、音程を掴もうと努力する子どもたちの姿がとても印象的でした。



a wonderful encounter

2016
11/12(土)
※前夜祭
11/11(金)

約25000人の県民を魅了した
キックオフイベント!

第33回 国民文化祭・おおいた2018
第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会
Kick Off Event

平成30年10月から始まる「第33回国民文化祭・おおいた2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」のキックオフイベントが開かれました。この日は美術館前の国道を歩行者天国とし、ガラス水平折戸も開放! 多くの方々が集ってくれたなか、華々しくキックオフ宣言や大会テーマ「おおいた大茶会」のロゴマーク発表、合唱、書道パフォーマンス、ワークショップや公開制作などを行いました。同時に芸短大によるワークショップやアートと食のマルシェ、iichikoアトリウムプラザではお茶会も開催。大盛況のうちに幕を閉じました。大会は2年後! いまから楽しみですね。



▲11/12(土)~20(日)まで開かれた特別展示



▲前夜祭で披露された、舞踊の異文化コラボレーションのステージ



▲合唱と書道のコラボパフォーマンス



▲公開制作「ダ・ダ・ダ・ダンシング 今日絵の具と踊るぞ!」。新見館長も子どもたちも絵の具まみれ!



▲小野正嗣さんの講演会



▲県知事、市町村長によるキックオフ宣言

2016
11/21(月)

OPAMが
津久見に
やってきた!



地域美術館体験講座2
大分県立美術館所蔵作品巡回展
スクールミュージアム
in 津久見市立第一中学校

地域に出向き、心身ともに成長し価値観が形成されていく時期の中学生に対して、郷土の名品に出会い、色や素材の魅力にふれ、実物ならではの美しさを、じっくりと感じ取ってもらうことを目的に行っている「スクールミュージアム」。今回は大分の著名作家たちの作品に、津久見ゆかりの作品や海をテーマとした作品を交えた約30点を津久見市立第一中学校体育館に展示しました。一般公開も行い、大勢の津久見市民のみなさんに観覧していただきました。

2016
12/2(金)
2017
1/22(日)

オランダの
モダン・デザインの
魅力を堪能!!



▲臼杵市で行われたCODAミュージアムのカリン・レインダース館長によるレクチャー「ADOの玩具 オランダ・デザイン」(12/4)



▲大分県立図書館で開催された新見館長のミニ講座「オランダ文化の面白さと20世紀のデザイン」(11/27)



▲内覧会の模様(12/2)

オランダのモダン・デザイン
リートフェルト/ブルーナ/ADO 遊ぶデザイン&暮らしのアート

リートフェルトとブルーナ、そして玩具「ADO(アド)」を生み出したフェルザー。三者による作品を通して、オランダのモダン・デザインを体感できる展覧会。12/2(金)にはびびKOTOBUKIメンバーやメディア向けの内覧会が行われ、新見館長や学芸員がガイドを務めて多くの方々に見ていただきました。内覧会には地域の園児たちも招待。子どもたちは目を輝かせながら展示を楽しんでくれました。関連イベントも随時行っていますので、ぜひチェックしてくださいね。



▲ギャラリー・トーク(12/3、10、11、25)

iichiko REPORTS

stage by stage

歌って踊って芸術の輪でつながろう

iichiko総合文化センターのレポートです

2016
10/5
(水)

大入島の子どもたちに
上質なコンサートをお届け♪

ストーリー
しあわせアート♡物語
おでかけクラシックコンサート

台風接近で一時間開催が危ぶまれた「おでかけクラシックコンサート」でしたが、みんなの願いが届いたのか、無事コンサートが開かれました。佐藤広美さん(ソプラノ)と穴井友香里(ピアノ)が訪れたのは、全校生徒12名の佐伯市立大入島小学校。2人は「赤とんぼ」やオペラ「ホフマン物語」より「オランピアの歌」など披露。「子どもたちの表情を間近で見て、エネルギーをいただきました」と佐藤さん。今後もホールを飛び出し、コンサートをお届けします!



2016
11/19
(土)

繊細かつ力強い音色に
終始感動

サティの名曲を中心にお贈りした福間洸太郎さんによるシャンソンのエスプリを感じたピアノリサイタル。終演後、感想を尋ねると「優しく繊細な音色と、それと対照的な情熱的で力強い音色に魅了された」、「その音色一つ一つに違う意味があるように歌うように弾かれています。知っている曲だったのに改めて素敵なお曲だと感じた」など、観客の興奮が伝わってきました。関連企画として、大分県立美術館では、サティと交流のあった画家たちの作品も展示されている。コレクションⅣ「フランス絵画とともに」も開催。演奏会前には加藤副館長のプレトークが行われたほか、チケットや半券を見れば特典を受けられる「おしゃれな街でバリ気分in府内町」も実施。フランスの薫りを堪能していただけましたでしょうか?



2016
11/26
(土)

メイクで変身!
気分はタカラジェンヌ

舞台メイクワークショップ
宝塚編

9月に行われた「舞台メイクワークショップ 歌舞伎編」に引き続き、今回は宝塚編を開催。元宝塚歌劇団花組で退団後もミュージカルや数々の舞台で活躍中の華月由舞さんご指導のもと、舞台上で映えるメイク方法を学ぶワークショップが開かれました。いつもと違うメイク方法に初めは戸惑う参加者たちでしたが、コツを聞きながらみるみるうちに華やかな顔へと変身! 最後は記念撮影などで盛り上がりしました。



楽しかったです!



エリック・サティ生誕150年記念
サティをめぐる音楽と絵画
~シャンソンのエスプリで~



平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
ワンコインリレーコンサート
~ソプラノ~

大分出身のソプラノ歌手、嘉目真木子さんによるソプラノコンサート。透き通るように美しく繊細な歌声に、観客はみな惹きこまれました。演奏の合間には、曲にかけた思いや活動の様子を語り、また、ピアノの武田朋子さんとのトークに、時折会場からは笑いが起こるなど、終始なごやかな雰囲気が進められました。終演後のサイン会では、嘉目さんを昔から知る人たちの姿も多くみられ、嘉目さんともてうれしそうでした。



2016
12/19
(月)

力強く優しい歌声が
会場を包み込む!



We are OPAMサポーター!

美術館と利用者をつなぐ架け橋として活躍しているOPAMサポーター。現在100名以上の方々が登録し、さまざまな分野で意欲的に活動しています。



図書グループ

書庫で図書や美術関係資料の分類・整理、美術館に送られてきた図録や雑誌のデータ入力・分類・整理をしています。



広報グループ

展覧会のポスターやフライヤーなどを全国の文化施設等に送付するほか、美術館内外の掲示物を交換する作業などをします。



教育普及グループ

ワークショップの準備・進行のサポート、教材ボックスの制作など、美術の楽しさを多くの人に知ってもらおう活動をしています。



ギャラリートークグループ

お客様向けに施設案内を行います。そのほか、館内の環境管理として、1Fから3Fの隅々に虫トラップを設置、入れ替えをしています。

館内ガイドツアーに参加してね!



開館の時からサポーターをしています。ガイドは難しい部分もありますが、美術館の裏も覗くことができ面白いです。館内ガイドツアーは随時開催しているのでぜひ、参加してください。



館内ガイド
石川千枝子さん

ベーゼンドルファー試奏会

世界3大ピアノの一つ「ベーゼンドルファー」の試奏会が音の泉ホールで行われました。ホールが所有しているものは、ベーゼンドルファーで最上位機種代表モデル290 imperialです。このモデルはオーケストラを思わせる色彩豊かな力強い音色が特徴。多くの応募者のなか12名の方が当選し、1時間1000円でこの名器を堪能していただきました。今後も試奏会を行いますので、ぜひ参加してみてください。



▲通常のピアノ鍵盤数88鍵に対し、このモデルは低音域に9鍵拡張してあり、合計97個の鍵盤があります。拡張した部分は黒く塗られているのが特徴。太く伸びやかに鳴り響く低音域が魅力です。

次回試奏会
1/27(金)、2/22(水)
iichiko総合文化センター施設課
☎097-533-4003 ※詳細はHPをご覧ください。

試奏会に参加した人たちの声!



弾き込んでいくと、もっと豊かな響きが期待できそうな、そんなポテンシャルを秘めているピアノだと思いました。

ベーゼンドルファーは弾きにくいイメージがあったけど、実際に弾いてみるととてもいいピアノだと思いました。



低音の響きがまろやか。ホールを独り占めできて、すごい気持ちよかったです。また応募したいですね。

2016
11/30
(水)

「音の泉ホール」を独り占め。名器と向き合う、贅沢な時間。

HEart of Christmas!

ハートオブクリスマス

毎年恒例のHEart of Christmas! 今年も全国からアーティストが集結し、まちにアートと音楽と笑顔があふれました。

五感を使って遊ぶ! 遊ぶ! 遊ぶ!



▲楽器体験コーナー

▲木育コーナー

ミラ★スタ

第4回大分県中高校生芸術文化祭

▲大分県立芸術緑丘高等学校の皆さん

オープニングセレモニー

▲空中を舞うエアリアルショー

2016
12/17
(土)
12/18
(日)
12/23
(金・祝)
12/24
(土)
12/25
(日)

アトリウムステージ

▲世界一のジャグリングアーティスト「望月ゆうさく」

アカベラユニット「バステルクロック」

▲フィナーレを飾ったのは、コーラスユニット「ベイビー・プー」と大分市立戸次中学校「コーラス部」の皆さん

大道芸ワークショップ

▲大道芸ワークショップ

OPAM SHOP & CAFÉ INFORMATION

1F OPAM Museum Shop tel.097-529-5177

但馬屋老舗×ミヤケマイ 華麗なるコラボレート!

大分県内一古い和菓子の老舗 但馬屋老舗と美術家ミヤケマイとのコラボレーションにより生まれたお菓子がこちら。ぜひお土産にどうぞ。



「さいコロがし」1,728円

卵白と寒天を使った風雅な干菓子に現代アートの感覚が融合した、かわいいお菓子。パッケージは蓋にサイコロの目を入れた、サイコロ盤付き。アーティスト双六を楽しもう!

「MOTHER OF MERCY」1,620円

但馬屋がある竹田市はキリシタン文化で知られる地。日本古来の文化と外来文化が融合している豊かさを日本古来の菓子・落雁で表現しました。聖母マリアをイメージさせる優しいミルク味と西洋の味であるミントの風味が融合した新しい味わいです。



※金額はすべて税込

2F café Charité tel.097-578-7788

今月のおすすめMENU

「大分県産豚のフィレカツ」980円 ※11~14時限定
肉質に定評のある県産豚のフィレ肉をあさりサクサクに仕上げたフィレカツ。お箸で切れるほど柔らかくてとてもジューシー!



ボリューム満点の久住高原のサラダ付き



※金額はすべて税込

「ガトーショコラ」600円
スイスのカルマ社製のダークスイートチョコレートを贅沢に使用した、しっとり濃厚なガトーショコラ。

「デザートセット」は900円。食事をされた人は単品金額より100円OFF

stage by stage



世界とつながる!

おおいた国際交流プラザNEWS



TOPICS 01



10/19(水)

知らなかった世界に興味津々! 国際理解講座～イスラム編～

開催場所:iichiko総合文化センター B1階 映像小ホール

「イスラム文化と人々の暮らし」と題し、別府ムスリム教会代表、カーン・ムハマド・タヒルさん (APU立命館アジア太平洋大学教授)が、講演を行いました。イスラム法で許されたハラル(食べ物)、さらにラマダン(断食)、モスクについてなど、日本人にはあまり馴染みのない文化や風習についてお話しいただきました。途中1日5回行うという「礼拝」の様子も観覧! イスラムについての理解が深まりました。



▲礼拝の様子

TOPICS 02



12/2(金)

チーズとワインで楽しいひととき 国際理解講座～オランダ編～

開催場所:iichiko総合文化センター B1階 映像小ホール

大分県立美術館で開催中の「オランダのモダン・デザイン リートフェルト/ブルーナ/ADO」展に合わせて開催された国際理解講座・オランダ編。講師にバイク・ヴァン・ゾン氏(徳島県美馬市 国際交流員)を迎え、オランダと日本の交流の歴史や文化などを学びました。バイクさんのユーモアあふれるトークに笑いが起きる場面も。途中チーズとワインを楽しむ時間もあり、とても楽しい時間が流れました。



TOPICS 03



12/10(土)

通訳・翻訳ボランティアスキルアップ講座 ～おもてなし編～を開催

開催場所:iichiko総合文化センター 4階 会議室

大分県出身で、通訳・ガイドの第一人者として、県内はもとより、国内外で活躍している佐藤都茂子先生を講師に迎え、通訳とはどうあるべきか、コミュニケーションにおけるその役割を学びました。実際に自身が通訳に苦労した会話の事例を出し、「皆さんならどう訳しますか」との問いかけに、一生懸命訳そうとする参加者の姿が見られました。

JICA

JICAデスク 大分だより

10/29(土)

大分市とJICA九州は10月6日の「国際協力の日」にちなみ、10月を「おおいた国際協力啓発月間」とし、市民の皆さんに国際意識を高めてもらうことを目的に、国際交流や国際協力に関わるイベントを募集し、サポートしています。今年も「第11回おおいた国際協力啓発月間」として、さまざまな国際関係団体と協力し、講演会や子どもと一緒に楽しめる体験ブース、商品の販売ブースや展示ブースを設置するイベントを実施しました。JICA九州として、パネル展示、ワークショップ、民族衣装ファッションショー、映画上映会を開催。10/29(土)ホルトホール大分で行われたメインイベント「おおいたワールドフェスタ2016」は多くの方に越えし頂きました。メインプログラム終了後に、同じ会場にて青年海外協力隊を題材にした映画「クロスロード」を上映しました。ご協力頂いた皆さま、お越し頂いた皆さま、ありがとうございました。

ワークショップ

ファッションショー



アクセスしてね!



EVENT SCHEDULE

1～3月の無料相談

在住外国人のための無料相談

◎13:00～16:00

開催日 1/18(水)、2/15(水)、3/15(水)

タガログ語無料相談

◎13:00～16:00

開催日 1/14(土)・24(火)、2/4(土)、3/4(土)・21(火)

中国語無料相談

◎10:00～13:00

開催日 1/12(木)・19(木)・26(木)、2/2(木)・9(木)・16(木)・23(木)、3/2(木)・9(木)・16(木)・23(木)・30(木)

入国・在留国籍手続等無料相談

◎13:00～16:00

開催日 2/5(日)、3/5(日)

1～3月のイベント

1月

28日(土) ◎14:00～16:00

日本語ボランティア スキルアップ講座

◎iichiko総合文化センター 4F 中会議室1

2月

8日(水) ◎18:30～20:00 ※時間内は出入り自由

青年海外協力隊ナビ@おおいた

◎iichiko総合文化センター 1F アトリウムプラザ
◎JICAデスク大分(佐保) ☎097-533-4021

18日(土) ◎14:00～16:00

国際理解講座 もっと知りたい「イギリス編」

アフタヌーンティーを楽しみながら、イギリスの歴史を学びます。
◎参加費500円 ※要事前申込(2月14日(火)締切)
◎iichiko総合文化センター B1階 映像小ホール

3月

8日(水) ◎18:30～20:00 ※時間内は出入り自由

青年海外協力隊ナビ@おおいた

◎iichiko総合文化センター 1F アトリウムプラザ
◎JICAデスク大分(佐保) ☎097-533-4021

11日(土) ◎9:00～18:00 ※本がなくなり次第終了

多言語図書無料配布

国際交流プラザに所蔵する書籍を更新等により不要になった本を1人4冊まで差し上げます。大人気イベントなのでお越しはお早めに。

◎iichiko総合文化センター B1F 国際交流プラザ
※当日はマイバッグを持参してください

OPAM Music in Museum 2016 Vol.9

おでかけコンサート

松本富有樹&Misol Lee

クラシック・ギター・リサイタル

松本富有樹とイ・ミソルによるギター・デュオが中津の「リル・ドリーム」に登場。I.アルベニス「入江のざわめき」やJ.K.メルツ「恋人の墓の前で」、「不安」など、スイス・パーゼルで共に学ぶ二人ならではの息の合った絶妙なアンサンブルをお楽しみいただきました。観客たちはクラシックギターならではの多彩でやわらかな音色に酔いしれました。



2016
10/29
(土)

日韓ギター・デュオが
中津で演奏!

県美展講演会

「今、表現としての写真を考える」

多くの来場者で賑わった第52回大分県美術展。講演会では、写真展の審査員も務めた、美術家で、東京藝術大学美術学部教授の佐藤時啓(ときひろ)さんを講師に招き、大分の写真シーンや写真表現の可能性について語っていただきました。ご自身の創作風景を交えた興味深いお話に、参加者から惜しめない拍手が送られました。



2016
10/9
(日)

写真表現の新たな可能性を探る
とても貴重な講演会

おおいた温故知新2016

～大分の先人たちの知性と感性に学ぶ～ Vol.2 音楽家 瀧廉太郎 関連イベント

OPAM Music in Museum 2016 Vol.10 「府内瀧廉太郎合唱団」

昨年7月に行われた「第114回忌 瀧廉太郎府内追悼祭」をきっかけに地元商店主や住民、会社員などで結成された「府内瀧廉太郎合唱団」。今回「おおいた温故知新2016～大分の先人たちの知性と感性に学ぶ～」関連イベントとして、「花」、「箱根八里」、「荒城の月」など全7曲を披露していただきました。大分県立美術館 1階 アトリウムが素晴らしい歌声に包まれました。



2016
11/5
(土)

アトリウムに響き渡った
瀧廉太郎の名曲の数々

街あるき

「ここに大分県立美術館 OPAMが できたワケ Vol.3」

当初昨年4月に開催するはずだったイベントでしたが、地震の影響で延期となり、今回開催の運びとなりました。びびの企画で作成した「大分の芸術家旧居住地マップ～ここにOPAMができたワケ～」にちなみ、瀧廉太郎や中山佛一、吉村益信など、芸術家ゆかりの地を散策しました。



2016
11/3
(木・祝)

みんなでみちくさしながら
まちの魅力を再発見!

びびフロンキスタイル講座

「年末年始に便利なふろしきの包み方」

何でも包むことができ、運ぶことのできる「ふろしき」。今回は、講師に小山田千鶴さん(フロンキスタイル主宰)を迎え「年末年始に便利なふろしきの包み方」と題し、ふろしきの歴史などのお話を聞いた後、様々なふろしきの包み方を学びました。講座の後は会場を移してランチ交流会。お食事が運ばれるまで、小山田先生によるデモンストレーションも楽しみました。



2016
12/18
(日)

目からウロコの
フロンキスタイル!

OPAM 建築ツアー

坂茂氏によって設計された大分県立美術館は、竹工芸をイメージさせる木の構造が象徴的な建物。この度、世界中の優れた建築に贈られる「RIBA国際優秀賞」受賞を記念して建築ツアーを行いました。坂茂建築設計の菅井啓太さんがガイド役を務め、ガラス水平折戸や地下の免震構造、普段見る機会のないバックヤードにも潜入! みんなとても熱心に耳を傾けていました。



2016
11/12
(土)

普段見られない
バックヤードにも潜入!



BIVI REPORTS

Bivi-Do

び

びびで花開く芸術体験

大分県芸術文化友の会「びび」のレポートです。入会するとこのような楽しいイベントに参加できます。

城下町左伯雛まつり

1/31(火)▶3/12(日)9:00~17:00(入館は16:30)

佐伯市内で貴重な江戸時代後期から昭和までの雛人形を展示。また昨年好評だった、佐伯市出身の日本人形作家・西山弘衣(ひろい)氏が作る日本人形も展示される。

●城下町佐伯国本田徒歩館 主屋 休月曜(月曜が祝日の場合は翌日休館)
●大人200円、小中学生100円、団体15名以上 大人100円、小人50円
☎0972-22-4234(佐伯市教委 社会教育課)

岡藩城下町雛まつり

2/10(金)▶3/5(日)

城下町内の各店舗に江戸時代から昭和の趣深いひな人形や竹田オリジナルの「竹雛」を展示し、「流し雛」では竹のお椀に乗せて流される織雛たちを見ることができる。木の枝に小さな餅を飾る「花餅づくり」にも参加して。

●竹田市城下町一帯 ☎0974-63-2638(岡藩城下町雛まつり実行委員会)

うすき雛めぐり

2/10(金)▶3/20(月・祝)

シンプルで気品のある紙製の雛人形およそ3,000組が展示される他、雛づくりも体験できる。市が指定したスポットをまわって応募すると、抽選で素敵な商品が当たるとのお楽しみ企画も。

●臼杵市観光交流プラザ、久家の大蔵、旧真光寺、サーラテ・うすき ほか
☎0972-64-7130(うすき雛めぐり実行委員会)

城下町杵築散策とひなめぐり

2/11(土・祝)▶3/12(日)

享保の時代から武家や商家で飾られてきた雛人形や、干支にちなんだ雛飾りなど、多彩なお雛様に出会えるのも杵築ならでは。市内の飲食店では、ひいなめぐりにちなんだ特別メニューを提供してもらえる。

●杵築市城下町一帯・杵築市山香町
☎0978-63-0100(杵築市観光協会)

大分のひなまつり情報



城下町ひじ雛めぐり

2/11(土・祝)▶3/20(月・祝)

二の丸館や大神海岸線エリアをはじめ、町内各所に雛人形が展示される。期間限定の雛御膳の販売やスタンプラリーなどもあわせて開催。

●二の丸館・深見記念館周辺、日出町さんか通り商店街、大神海岸線エリアなど
☎0977-72-4255(ひじ雛めぐり実行委員会 日出町観光協会)

天領日田おひなまつり

2/15(水)▶3/31(金)予定

日田市豆田町や隈町の旧家や資料館で一斉にひな飾りを展示・公開している。期間中には「流しびな」や「青い目の人形パレード」が催され、着物をレンタルしてまち歩きもできる。

●日田市豆田町、隈町、天瀬町の各資料館・施設
☎0973-22-8210(日田市商工観光部観光課)

昭和の町豊後高田おひなさまめぐり

2/20(月)▶3/10(金)

明治、大正、昭和のおひなさまが各商店にお目見え。その他にも懐かしい古民具や絵画、オリジナルの手芸品などを見ることができる。「雛」や「昭和の町」に関する川柳の展示も。

●豊後高田市昭和の町商店街
☎0978-22-2412(豊後高田街並みめぐり実行委員会)

城下町中津のひなまつり

2/25(土)▶3/12(日)

商店街、JR中津駅、福澤論吉旧居など、各所にひな飾りが施され、ひなまつりパレードや女性による綱引き大会などが開催。中津城では「中津城人間ひな祭り」が行われる。

●中津市 諸町、中津市歴史民俗資料館、福澤論吉旧居 ほか
☎0979-22-1111(中津市役所観光推進課)

[おおいたホールナビ]

(大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報)



1/14(土) 14:00開演

新春ホルトホール寄席

●三遊亭鳳志、三遊亭好吉、三遊亭じゃんけん、伊藤夢葉
●2,000円、中学生以下1,000円 ●ホルトホール大分 小ホール ●☎097-576-8877

1/15(日) 18:30開演

メルヘン大使「三遊亭鳳志」新春寄席

●三遊亭鳳志、伊藤夢葉、三遊亭好吉、三遊亭じゃんけん
●全席自由 一般1,000円、高校生以下500円※当日一般500円増、高校生以下200円増
●くすまちメルサンホール ●☎0973-72-0601

1/22(日) 15:00開演/16:10終演

ゴルゴ松本講演会「命の授業」～漢字のつくりから生きるための教訓を学ぶ～

●ゴルゴ松本
●豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの 大ホール ●☎0974-22-8000

2/1(水) 18:30開演/20:15終演

宝くじ文化公演 前進座 創作歌舞伎「牛若丸」

●前進座 木村祐樹、渡会元之、早瀬栄之丞 ●全席自由 一般1,500円、高校生以下1,000円(当日2,000円、1,500円) ●宇佐文化会館 ウサビシア 大ホール ●☎0978-33-3100

2/4(土) 15:00開演/17:00終演

結成10周年記念 高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト MUSE ~Best 12 Harmony~ in Beppu

●高嶋ちさ子、12人のヴァイオリニスト、村松亜紀(ピアノ)
●前売り S席4,000円、A席3,000円/当日 S席4,500円、A席3,500円
●ビーコンプラザ フィルハーモニアホール ●☎0977-26-7111

2/5(日) 14:00開演

Patria Music Festa Vol.10

●500円 ●日田市民文化会館「パトリア日田」小ホール(せせらぎ) ●☎0973-25-5000

2/11(土・祝)・12(日)・18(土) ※開演未定

「宝のまち・豊後FUNAI芸術祭」事業

「第2回FUNAI演劇祭」

●演劇集団P-nuts、舞台創作コロニーBackStage、シオナーズキッズミュージカル、officeせんせいしよんプロデュース ムク座、金平糖企画、県立大分豊府高等学校(高校演劇グランプリ最優秀賞受賞校) ●1公演券 一般1,000円、大学生以下500円 ※大分豊府高等学校の公演は一般も500円 ●ホルトホール大分 小ホール ●☎097-576-8877

2/18(土) 14:30開演

「宝のまち・豊後FUNAI芸術祭」事業

「和楽器アンサンブル息吹コンサート2017 ~ふるさと大分の響き~」

●和楽器アンサンブル息吹 ●一般1,500円、小中学生500円、未就学児無料
●ホルトホール大分 大ホール ●☎097-576-8877

2/18(土)・19(日) 18日…19:00開演/20:30終演
19日…14:00開演/15:30終演

咸宜園開塾200年記念協賛事業 ことごとくよろし

日田市民ミュージカル「咸く宜し」

●一般2,000円、大学生以下1,000円 ※友の会会員10%引き
●パトリア日田 大ホール ●☎0973-25-5000

2/19(日) 10:00開演予定

くすまち公民館フェスティバル

●無料 ●くすまちメルサンホール ●☎0973-72-0601

2/26(日) 14:00開演/16:00終演

ビーコンプラザオペレッタ劇場 瓜生島3か年プロジェクトvol.2

●東京オペレッタ劇場一般参加者 ●3,000円、高校生以下1,500円
●別府ビーコンプラザ「フィルハーモニアホール」 ●☎0977-26-7111

3/19(日)

豊後FUNAIミュージカル

●大分市民 ●ホルトホール大分 大ホール ●☎097-576-8877

※チケットは売り切れの場合もあります。各施設にお問い合わせください。

小鹿田焼の里の高台には、小鹿田焼の歴史・特徴・技法などが分かる資料館「小鹿田焼陶芸館」がある。
●日田市源栄町138-1
●9:00~17:00
☎0973-29-2020

小鹿田焼の里

一子相伝で受け継がれている焼き物の里。谷川の水を利用した唐臼で土を砕き、窯り窯で焼くという昔ながらの技法で作られている。

●日田市源栄町山山
小鹿田焼同業組合
☎0973-29-2449



Life design shop Areas(エリアス)

地元に着く伝統文化と職人技を結びつけたオリジナル商品や雑貨を提案するライフデザインショップ。お土産選びはここで。

●日田市豆田町7-20
●9:30~19:00
☎050-1048-7757



廣瀬資料館

廣瀬淡窓とその弟の豪商・久兵衛の生家。館内には天保時代の諸道具や調度品、家財や江戸時代の雛人形、古文書などを展示している。

●一般450円、小中学生350円
●日田市豆田町9-73
●9:00~17:00
☎0973-22-6171



日田市複合文化施設 AOSE(アオーゼ)

今夏中央公民館を改修し、美術展示ギャラリーや博物館、収蔵庫を兼ね備えた文化拠点が誕生。地元出身の宇治山哲平や若澤重夫の寄贈作品なども展示。
●日田市上城内町2-6 ☎0973-22-6868



日田祇園山鉾会館

「日田祇園祭(国・重要無形民俗文化財)」6基の山鉾と見送り、水引等祇園祭に関するものを中心に展示している資料館。

●一般310円、小中学生210円
●日田市隈2-7-10
●9:00~17:00
☎0973-24-6453



本野(もとの)はきもの工業

伝統工芸・日田下駄の製造元直営ショップ。クラフト作家とコラボしたオシャレな下駄なども販売。オーダーメイドも可能だよ。

●日田市三芳小洲町1080-3
●8:00~18:00 ☎0973-22-4460



郷土在住作家展10

●鈴木忠実展 1/11(水)~29(日)
●高木岩義展 2/2(木)~19(日)
大分県日本画協会会長、鈴木忠実(1935~)と行動美術協会会員の洋画家、高木岩義(1939~)の画業の全容を、それぞれ約80点の作品及び関連資料により紹介します。
●一般500円、高大学生300円

●第51回 大分市美術展 3/3(金)~26(日)
日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門の作品を紹介します。
●無料

大分県立歴史博物館

●0978-37-2100
●宇佐市高森京塚
●9:00~17:00(入館~16:30)
●一般310円、高大学生150円、中学生以下無料

「おおいたのお茶」一梓築藩医・佐野家の喫茶文化~

私たちの身近にあり、日常生活にささやかな楽しみをあたえてくれる「お茶」。ここ大分県では、梓築藩の藩医であった佐野家に、様々な茶道具が伝わっています。本展では、佐野家伝来の茶道具を中心に、おおいたの豊かな喫茶文化を紹介します。

大相撲コレクション展

3/3(金)~5/14(日)
個人の相撲コレクションとしては、日本有数の「中国コレクション」。江戸期の番付など歴史資料はもろろん、現代の人気力士に関するものまで多彩に紹介します。

Oita Art Scene vol.03

今回のテーマ

「天領日田おひなまつり」を開催する日田を巡ろう!

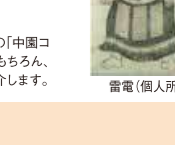
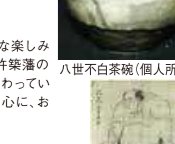
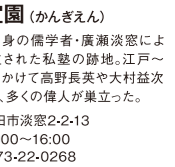
大分県立美術館の「雛人形展示」も観にきてね。

(詳細はP03へ)

F 咸宜園(かんぎえん)

日田出身の儒学者・廣瀬淡窓により創立された私塾の跡地。江戸~明治にかけて高野長英や大村益次郎など、多くの偉人が輩出した。

●日田市淡窓2-2-13
●10:00~16:00
☎0973-22-0268



「オランダのモダン・デザイン」展関連イベント



OPAM ミュージック・イン・ミュージアム2017 Vol.11
Troost & Drost

1/14(土)

13:00~ / 15:00~ 各30分 ▶大分県立美術館 1階 アトリウム

チェリストのTroostとピアニストのDrost。異なる経歴を持つ二人が手を組み、2003年より音楽活動を開始。今回のコンサートでは、大分県立美術館で開催中の「オランダのモダン・デザイン」展にちなんでプログラムを演奏予定です。

⊕ Jan Willem Troost(ヤン・ウィレム・トロースト)(チェロ)、
Roeland Drost(ルーランド・ドロスト)(ピアノ)

Ⓜ 無料

Ⓜ (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
☎097-533-4025 E-mail:bivi@opam.jp

ことほ
コレクション展VI「春を言祝ぐ」雛人形展示関連イベント



OPAM ミュージック・イン・ミュージアム2017 Vol.12
「お琴の音色でいざなう春 ~おひなさまとともに~」

3/12(日)

11:00~ / 14:00~ 各30分 ▶大分県立美術館 1階 アトリウム

大分県立美術館コレクション展VI「春を言祝(ことほ)ぐ」では、日田の旧家が所蔵する雛人形の名品を特別展示。歴史ある雛人形たちとともに、琴の音色で春をいざないます。

⊕ 菊珠三奈子(箏)、賛助出演:羽田野逢山(尺八)

Ⓜ 無料 曲 春の海(宮城道雄作曲)など

Ⓜ (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
☎097-533-4025 E-mail:bivi@opam.jp

大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP
メンバー募集!

びびとは、大分県立美術館(OPAM)とiichiko総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。

メンバーステージ	KOTOBUKI	TAKASAGO	UME	MEJIRO
年会費	10,000円	5,000円	2,500円	無料

※メンバー期間は入会日または更新日から1年経過した日の属する月の月末までです。

有料会員特典内容の一例

特典1 先行予約 特典2 チケット割引

iichiko総合文化センターが主催、共催または指定する公演のチケットが一般発売前に10%割引等メンバー価格で購入できます。

※主催の公演であっても、公演やチケットの種類によっては特典の内容が異なる場合があります。

特典4: 駐車券進呈

メンバー有効期限内、KOTOBUKI 25時間(5,000円分)、TAKASAGO 10時間(2,000円分)の駐車券サービスを受けられます。

特典3: 鑑賞割引

大分県立美術館(OPAM)主催の企画展の無料鑑賞や内覧会ご招待など。

特典5: 各種サービス

アーティストとの交流会等の各種イベントご招待、大分オアシスタワーホテルや県内店舗優待サービスなど。

◎入会は随時受け付けています。◎メンバーズカードは、会費の納入を確認後、1~2週間後に郵送いたします。いったん納められた会費の払い戻しはいたしません。◎特典内容はメンバーステージによって異なります。

PRESENT!



太田旗店とのコラボ風呂敷
友の会びびのKOTOBUKIに更新(1年目)、ランクアップされた方にオリジナル風呂敷をプレゼント!

アキ工作社とのコラボd-torso

友の会びびKOTOBUKI2年目更新の特典として、宇治山哲平の作品が立体になる、びびアキ工作社 オリジナルd-torsoをプレゼントします! ぜひ2年目の更新もご検討ください。
※試作中のため、変更となる場合がございます。

【問合せ・申込先】
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 友の会びび
〒870-0029 大分市高砂町2-33 E-mail bivi@opam.jp
tel.097-533-4025 / fax.097-533-4050

申込方法等の詳細はHPへ。



http://www.opam.jp/bivi

■法人会員のご案内

大分県芸術文化スポーツ振興財団の運営趣旨にご賛同いただける方を対象とした、法人会員の募集を行っています。大分県芸術文化友の会「びび」の法人会員と、財団に対して寄附をしていただく賛助会員の2種類があります。会員の皆さまからいただいた友の会会費は、主に会員を対象とした交流会や演奏会などの事業に、賛助会費につきましては、財団が年間を通して実施する文化公演事業や美術館企画展などの運営に充ててまいります。ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

問合せ・申込先

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団 会員担当
tel.097-533-4025

今回の表紙...
情報コーナー



大分県立美術館 2階にある「情報コーナー」は、目で楽しむブックギャラリー。絵の具の素材となる鉱物や植物の図鑑、自然科学・大分の生活・日本人の心など独自のテーマで収集した書籍を展示しています。書籍は閲覧もできます。

